



# ノード設定の変更

この章では、Cisco ONS 15454 SDH のノード設定を変更する方法について説明します。新規ノードのプロビジョニングについては、第4章「ノードの立ち上げ」を参照してください。ネットワーク要素のデフォルト設定の変更と、それらの設定の一覧表示については、『Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual』の付録「Network Element Defaults」を参照してください。

## 準備作業

次の手順を実行する前に、すべてのアラームを調べて、問題をすべて解決しておいてください。必要に応じて、『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照してください。

この章では次の NTP (手順) について説明します。適用する DLP (作業) については、各手順を参照してください。

1. **NTP-D81 ノード管理情報の変更 (p.11-2)** — ノード名、連絡方法、緯度、経度、日付、時刻、およびログイン時の法的免責事項の説明を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
2. **NTP-D201 CTC ネットワーク アクセスの変更 (p.11-3)** — IP アドレス、デフォルト ルータ、サブネット マスク、ネットワーク構成の設定、およびスタティック ルートを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
3. **NTP-D327 OSI プロビジョニングの変更 (p.11-4)** — Open System Interconnection (OSI; 開放型システム間相互接続) ルーティング モード、Target Identifier Address Resolution Protocol (TARP)、ルータ、サブネット、IP-over-OSI トンネルなど、OSI パラメータを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
4. **NTP-D202 CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ (p.11-5)** — ドメインを作成したりネットワーク マップの体裁をカスタマイズしたりする場合は、必要に応じてこの手順を実行します。これらの手順には、異なるデフォルト マップの指定、ドメインの作成、独自マップやイメージの選択、背景色の変更などが含まれています。
5. **NTP-D203 カード保護設定の変更または削除 (p.11-6)** — 必要に応じて、この手順を実行します。
6. **NTP-D277 通信チャネルの終端とプロビジョニング可能なパッチコードの変更または削除 (p.11-7)** — RS-DCC、MS-DCC、および PCC の終端を変更または削除する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
7. **NTP-D85 ノードのタイミング変更 (p.11-8)** — 必要に応じて、この手順を実行します。
8. **NTP-D205 ユーザの変更とセキュリティの変更 (p.11-9)** — 必要に応じて、この手順を実行します。
9. **NTP-D87 SNMP の設定変更 (p.11-10)** — 必要に応じて、この手順を実行します。

## NTP-D81 ノード管理情報の変更

目的	この手順では、ノード名、日付、時刻、連絡方法、およびログイン時の法的免責事項の説明を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D316 名前、日付、時刻、連絡先情報の設定 (p.4-5)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザ

- 
- ステップ 1** 設定を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。
- ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。
- ステップ 3** ノード ビューで、**Provisioning > General** タブをクリックします。
- ステップ 4** 「[DLP-D140 ノード名、日付、時刻、および連絡先の変更 \(p.18-33\)](#)」を実行します。
- ステップ 5** 必要に応じて、「[DLP-D265 ログイン時の法的免責事項の説明の変更 \(p.19-68\)](#)」を行います。
- ステップ 6** 変更内容を確認したら、「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

---

## NTP-D201 CTC ネットワーク アクセスの変更

目的	この手順では、IP の設定、スタティック ルート、および OSPF オプションといった基本的なネットワーク情報を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D169 CTC ネットワーク アクセスの設定 (p.4-8)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザ

**(注)**

IP アドレッシングの例やスタティック ルートのシナリオ、また Open Shortest Path First (OSPF) プロトコルや Routing Information Protocol (RIP) のオプションなど、ONS 15454 SDH のネットワークと手順に関するその他の情報については、『*Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual*』の「Management Network Connectivity」の章を参照してください。

**ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

**ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D266 IP 設定の変更](#) (p.19-69)
- [DLP-D142 スタティック ルートの変更](#) (p.18-35)
- [DLP-D143 スタティック ルートの削除](#) (p.18-36)
- [DLP-D100 プロキシ トンネルの削除](#) (p.18-1)
- [DLP-D101 ファイアウォール トンネルの削除](#) (p.18-1)
- [DLP-D144 OSPF のディセーブル化](#) (p.18-37)
- [DLP-D85 ノードセキュリティのロック](#) (p.17-85)
- [DLP-D86 MIC-C/T/P ポートの IP 設定修正](#) (p.17-85)
- [DLP-D87 ノードのセキュリティ モードのディセーブル化](#) (p.17-86)

**ステップ 4** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D327 OSI プロビジョニングの変更

目的	この手順では、OSI ルーティング モード、TARP、ルータ、サブネット、および IP-over-OSI トンネルなど、ONS 15454 の OSI パラメータを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D326 OSI のプロビジョニング (p.4-16)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



(注)

ONS 15454 に実装されている OSI の詳細については、『*Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual*』の「Management Network Connectivity」の章を参照してください。

**ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

**ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D166 TARP 動作パラメータのプロビジョニングまたは変更 \(p.18-57\)](#)
- [DLP-D167 TARP データ キャッシュへのスタティック TID/NSAP エントリの追加 \(p.18-59\)](#)
- [DLP-D168 TARP データ キャッシュからのスタティック TID/NSAP エントリの削除 \(p.18-60\)](#)
- [DLP-D169 TARP MAT エントリの追加 \(p.18-61\)](#)
- [DLP-D175 TARP MAT エントリの削除 \(p.18-65\)](#)
- [DLP-D178 OSI ルーティング モードの変更 \(p.18-70\)](#)
- [DLP-D179 OSI ルータ設定の編集 \(p.18-71\)](#)
- [DLP-D180 OSI サブネットワーク ポイント オブ アタッチメントの編集 \(p.18-72\)](#)
- [DLP-D184 IP-Over-CLNS トンネルの編集 \(p.18-73\)](#)
- [DLP-D182 IP-Over-CLNS トンネルの削除 \(p.18-74\)](#)

**ステップ 4** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D202 CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ

目的	この手順では、CTC のネットワーク ビューを変更します。各ノードをドメイン別にグループ化して見やすくしたり、ネットワーク ビューの背景色を変更したり、ネットワーク ビューの背景にカスタム イメージを使用したりすることができます。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	なし
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

**ステップ 1** 「DLP-D60 CTC へのログイン」(p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

**ステップ 2** 必要に応じて、次の作業を行います。

- [DLP-D145 ネットワーク ビューの背景色変更 \(p.18-37\)](#)
- [DLP-D435 ネットワーク ビューのデフォルト背景マップの変更 \(p.21-27\)](#)
- [DLP-D268 ネットワーク ビューへのカスタム背景マップの適用 \(p.19-70\)](#)
- [DLP-D148 ドメイン アイコンの作成 \(p.18-42\)](#)
- [DLP-D149 ドメイン アイコンの管理 \(p.18-42\)](#)
- [DLP-D393 TDM と DWDM のネットワーク ビュー切り替え \(p.20-82\)](#)
- [DLP-D269 ダイアログボックスを非表示にするオプションのイネーブル化 \(p.19-71\)](#)

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D203 カード保護設定の変更または削除

目的	この手順では、カード保護の設定を変更または削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D170 保護グループの作成 (p.4-12)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



### 注意

保護グループの変更や削除はサービスに影響することがあります。

**ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を行います。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。

**ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D150 1:1 保護グループの変更 \(p.18-43\)](#)
- [DLP-D152 1:N 保護グループの変更 \(p.18-45\)](#)
- [DLP-D154 1+1 保護グループの変更 \(p.18-48\)](#)
- [DLP-D155 保護グループの削除 \(p.18-49\)](#)

**ステップ 4** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D277 通信チャネルの終端とプロビジョニング可能なパッチコードの変更または削除

目的	この手順では、ONS 15454 SDH の RS-DCC または MS-DCC 終端を変更または削除します。また、ONS 15454 SDH でプロビジョニング可能なパッチコードを削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	DLP-D363 RS-DCC 終端のプロビジョニング (p.20-69) DLP-D364 MS-DCC 終端のプロビジョニング (p.20-71) DLP-D40 プロビジョニング可能なパッチコードの作成 (p.17-34)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

- 
- ステップ 1** 「DLP-D60 CTC へのログイン」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。
- ステップ 2** **Provisioning > Comm Channels** タブをクリックします。
- ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行い、通信チャネルの終端を変更します。
- DLP-D359 RS-DCC の終端の変更 (p.20-65)
  - DLP-D358 MS-DCC の終端の変更 (p.20-65)
- ステップ 4** 必要に応じて次の作業を行い、通信チャネルの終端を削除します。
- DLP-D360 RS-DCC の終端の削除 (p.20-66)
  - DLP-D362 MS-DCC の終端の削除 (p.20-68)
- ステップ 5** 必要に応じて、「DLP-D41 プロビジョニング可能なパッチコードの削除」 (p.17-35) を行います。
- 終了：この手順は、これで完了です。
-

## NTP-D85 ノードのタイミング変更

目的	この手順では、ONS 15454 SDH に設定されている SDH タイミングを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D28 タイミングの設定 (p.4-11)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

- 
- ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。
- ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。
- ステップ 3** 必要に応じて、「[DLP-D157 ノードのタイミング ソース変更](#)」 (p.18-49) を行います。
- ステップ 4** 内部タイミングの設定を変更する場合は、変更する設定について「[DLP-D70 内部タイミングの設定](#)」 (p.17-65) を実行してください。



### 注意

内部タイミングは Stratum 3 なので、一時的にしか使用しません。ONS 15454 SDH のタイミングは、すべて Stratum 2 以上のプライマリ基準ソースに合わせる必要があります。

- ステップ 5** MS-SPRing または SNCP ring からノードを削除したあとにタイミングの確認が必要な場合は、「[DLP-D195 縮小されたリングで使用されているタイミングの確認](#)」 (p.18-82) を参照してください。
- ステップ 6** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

---



## NTP-D205 ユーザの変更とセキュリティの変更

目的	この手順では、ONS 15454 SDH のユーザプロパティとセキュリティプロパティを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D30 ユーザの作成とセキュリティの割り当て (p.4-4)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

---

**ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#)へ進みます。

**ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D271 ノードセキュリティポリシーの変更：単一ノード \(p.19-72\)](#)
- [DLP-D272 ノードセキュリティポリシーの変更：複数ノード \(p.19-73\)](#)
- [DLP-D437 ノードアクセス権限と PM クリア権限の変更 \(p.21-29\)](#)
- [DLP-D158 ユーザのパスワードとセキュリティレベルの変更：単一ノードの場合 \(p.18-51\)](#)
- [DLP-D160 ユーザのパスワードとセキュリティレベルの変更：複数ノードの場合 \(p.18-52\)](#)
- [DLP-D159 ユーザの削除：単一ノードの場合 \(p.18-52\)](#)
- [DLP-D161 ユーザの削除：複数ノードの場合 \(p.18-53\)](#)

**ステップ 4** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

---

## NTP-D87 SNMP の設定変更

目的	この手順では、ONS 15454 SDH に設定されている SNMP を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D34 SNMP の設定 (p.4-14)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザのみ

**ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

**ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D273 SNMP トラップ宛先の修正](#) (p.19-74)
- [DLP-D163 SNMP トラップ宛先の削除](#) (p.18-55)

**ステップ 4** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。